

論文問題冊子

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、2題で90分です。試験問題1～6のうち、2題を選択してください。
3. 経営システム科学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題3, 4(経営システム科学分野)の中から1題は選択してください。
4. 会計学分野の指導教員を第1希望とする場合は、問題5, 6(会計学分野)の中から1題は選択してください。
5. 試験問題についての質問は、受けつけません。
6. 試験開始後ただちに解答用紙の中の受験番号記入欄に受験番号と、問題番号記入欄に問題番号を誤記のないように記入してください(氏名は記入しないでください)。受験番号や問題番号が記入されていないと、その解答用紙の成績が0点になる場合があります。
7. 解答用紙1枚につき、1題解答してください。1枚の解答用紙に複数の問題を解答した場合、無効になる場合があります。また、解答用紙には裏面もありますが、1題につき、解答用紙1枚で収めるようにしてください。
8. 解答は、日本語で行ってください。
9. 問題冊子・解答用紙に汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 1 .

マトリックス組織 (matrix organization) とは何かを説明したうえで、そのメリットとデメリットについて述べなさい。さらに、マトリックス組織を有効に運営するには、どのような条件が必要であるかを論じなさい。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営学 問題番号 2

「マネージャーの役割」に関して、以下の問いに答えなさい。

ヘンリー・ミンツバーグが提唱した「対人関係における役割」「情報に関わる役割」「意思決定にかかわる役割」の三つのマネージャーの役割を、現代のVUCA (Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity) の環境においてどのように再定義または適応させるべきかを議論せよ。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 3

母平均 μ の推定に関する以下の小問 (1) から (3) に答えよ。

- (1) 母平均 μ の正規母集団から無作為抽出した 2 つの標本 X_1, X_2 に基づく以下のような線形推定量 $\hat{\theta}$ が

母平均 μ の不偏推定量であるために定数 a_1, a_2 が満たすべき条件を求めよ。

$$\hat{\theta} = a_1 X_1 + a_2 X_2$$

- (2) 小問 (1) の条件を満たす線形推定量 $\hat{\theta}$ のうち、分散が最小となるような推定量を求めよ。
- (3) 母分散 $\sigma^2 = 10$ の正規母集団から無作為抽出した n 個の標本に基づき、母平均 μ の 95%信頼区間を求めるとき、信頼区間の幅を 1.5 以下にするためには n はいくつ以上にすべきか。標準正規分布における上側 5%点、2.5%点をそれぞれ 1.65、1.96 として求めよ。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 経営システム

問題番号 4

以下の4つの小問に答えなさい。解答には最終的な答えに至ったプロセスも簡潔に記述しなさい。

- (1) 某大学が異なる教育メソッドを用いて学生に統計学を教授し、最終試験の得点で教育メソッドの教育効果を比較した。表1は各教育メソッドの最終試験の得点である。各メソッドの平均と分散を計算しなさい。

表1 教育メソッドごとの最終試験の得点

メソッド	得点
A	82, 84, 80, 81, 83
B	78, 82, 80, 79, 81
C	92, 94, 93, 91, 95

- (2) 表1のデータに対して1元配置モデルによる分散分析を行うための帰無仮説と対立仮説を設定しなさい。

- (3) 表1のデータに対して、表2の分散分析表の(a)から(j)までのセルの数値を特定しなさい。

表2 分散分析表

	変動	自由度	分散	F 値
群間	(a)	(d)	(g)	(j)
群内	(b)	(e)	(h)	
全体	(c)	(f)	(i)	

- (4) 小問(2)の仮説を用いて、教育メソッド間に有意な差があるかを検定しなさい。有意水準 $\alpha = 0.05$ としなさい。F 分布の値の特定については表3を用いなさい。

表3 $F_{0.95}(\text{自由度 } n, \text{自由度 } m)$ の分布表

	自由度 n							
自由度 m	1	2	3	4	12	13	14	15
1	161	200	216	225	244	245	245	246
2	18.5	19.0	19.2	19.3	19.4	19.4	19.4	19.4
3	10.1	9.55	9.28	9.12	8.74	8.73	8.71	8.70
4	7.71	6.94	6.59	6.39	5.91	5.89	5.87	5.86
12	4.75	3.89	3.49	3.26	2.69	2.66	2.64	2.62
13	4.67	3.81	3.41	3.18	2.60	2.58	2.55	2.53
14	4.60	3.74	3.34	3.11	2.53	2.51	2.48	2.46
15	4.54	3.68	3.29	3.06	2.48	2.45	2.42	2.40

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 5

以下の問いに答えなさい。

- (1) 包括利益の意義を説明しなさい。
- (2) その他の包括利益に含まれる具体的な科目を3つあげて、その内容を簡潔に説明しなさい。
- (3) 組替調整（リサイクリング）の意義と役割を説明しなさい。

2025年度

横浜国立大学大学院国際社会科学府入学試験問題

分野 会計学 問題番号 6

営業費は、販売費及び一般管理費の総称である。この営業費の管理について、次の(1)と(2)に答えなさい。

- (1) 企業経営において、営業費の管理の重要性が高まった背景を説明しなさい。
- (2) 製造原価との比較を通じて営業費の特質について説明しなさい。